

ーファッションカンタータ

FASHION CANTATA from KYOTO

「平安幻想
テーマは
INVISIBLE KYOTO」

【ゲストモデル】 栗山千明 【ゲスト】 渡辺大
【ゲストアーティスト】 平原綾香 【出演・監修】 安珠
【音楽】 沖野修也 (Kyoto Jazz Massive)
【作品】 和装=ファッションカンタータ和装部会 羽田登、丹下雄介、
栗山吉三郎、高橋優子、丹後織物工業組合、合計 25 点
洋装= MARC JACOBS マークジェイコブス 19 点
【演出】 石橋義正【ヘア&メイク】 資生堂 (敬称略)
【会場】 京都劇場 (京都駅ビル内)
【主催】 ファッションカンタータ開催実行委員会、
京都商工会議所
【提供】 西日本旅客鉄道 JR 西日本
京都駅ビルグループ
【撮影】 富島達博、成川佳子

6 月 8 日京都劇場は 幻想の世界に包まれた

春の花見、秋の月見、物語を美しく表現するかな文字。現代の日本に残る多くの文化や行事の数々は平安時代に生まれた。四季折々の美を愛で、花鳥風月をこよなく愛する優美で細やかな文化や、綿々と受け継いできた美意識は今なお京の街に息づいている。しかし、人生 30 年といわれたこの時代に、その美の世界の裏側で平安の世の人々の心には生と死、現実と非日常が混在する「目には見えない世界」を信じる精神があった。京の都に繰り広げられていた光と陰、優美と幻想の世界を、伝統を引き継ぎつつ現代の感覚で創造する和装産業の明日を担う 4 人の染色作家。創業 300 年を迎える丹後ちりめん産地で先染織物を手がける 8 機業。そして海外ニューヨークから、アメリカンファッションの新たな境地を開拓し続ける MARC JACOBS 氏が「平安幻想～ INVISIBLE KYOTO ～」をテーマに製作した和洋ファッションがクロスオーバーし、世界に発信する 1 大イベントとして繰り広げられた。ショーへの誘いは舞台製作を監修した写真家安珠さん。羽田登氏製作のきもの「祇園囃子」を着て、開催中の写真展 Invisible Kyoto- 目に見えぬ平安京 - とコラボしたショー構成の説明からスタートした。



安珠さん



渡辺大さん

FASHION CANTATA

from KYOTO



栗山千明さん

日展工芸部門で30回以上入選している臈纈染め作家丹下雄介氏に課せられた作品テーマは「鬼」。平安時代、夜な夜な京の都に現れた鬼は人々を恐怖に陥れた。大江山に棲み京都の町にたびたび現れた伝説の鬼「酒吞童子」、羅生門の鬼「茨木童子」など、鬼退治の伝説はこの頃に生まれた。丹下氏は臈纈染めというコントラストがはっきりした染色技法を生かして平安京の古典的な作品を現代の感覚で作り上げ、鬼さえもが心を奪われる作品を披露した。

TANGE YUSUKE

丹下雄介

① 訪問着「炎ゆる紅葉 - 洛北」

今回与えられたテーマは、「鬼」。そのイメージを最初に表現したのが、秋の洛北の紅葉をモチーフにして臈纈染めで染め上げたこの訪問着。帯は季節に合わせて紅い彼岸花コーディネートしました。

② 「竹林の風 - 洛西」

洛西の竹林を通り抜ける風と共に、そこに潜む鬼を求めて制作しました。色調は、竹の合間から見上げた空の色から広がるブルーとグリーンをイメージしたものです。

③ 「洛東山懐」

洛東に潜む鬼を求めて山懐に分け入ると行く手を阻む木々に纏わりついて繁茂している蕨。そのイメージを表現しました。帯は、鬼のテーマを意識して黒地の蜘蛛の巣柄、小物も赤と黒を用いました。

④ 「洛南の春」

平安の都の南に広がる洛南の地で見つけた牡丹の花を題材にした作品。私の作品は、全て臈纈染軋出技法で染色していますが、それを駆使し違った形で牡丹の花を表現しています。帯もお揃いの染め袋帯です。

⑤ 「平安一夜の夢」

栗山千明さんがお召の、月下美人をモチーフにした振袖。平安の昔には無かった花ですが、陽が落ちた頃から咲き出す花は、一夜限りで生命を終えてしまう。ひと夜の夢を振袖に託してみました。

FASHION CANTATA

from KYOTO

高橋 優子

和の華・京都織物卸商業組

和装作家二人目は(株)瑞穂のブランド「和の華」のチーフデザイナー、濡れ描き友禅作家の高橋優子さん。幼い頃からファッションデザイナーになることが夢だった彼女が、19歳の時に読んだ谷崎潤一郎の「刺青」に日本の艶に深く感動を覚え、日本の美を追究できる”きもの職人”になることを決意した。愛知から京都に入洛して濡れ描き友禅工房で10年間の修行後、自身のブランド立ち上げて独立した。

高橋さんに課せられたテーマは「文学」。竹取物語、源氏物語、枕草子などたくさんの文学が生まれた平安時代。この時代に生まれた文学作品を絵柄に忍ばせた作品5体は彼女が追求する「日本の艶、日本の美」をきものというキャンバスに表現した。

TAKAHASHI YUKO

高橋優子

① 訪問着「王朝絵巻雪月花」

平安時代に宮中などに仕えた女房によって書かれた女房文学がテーマ。絵巻物の中に雪月花を描くことで四季の美しさを愛でた平安時代の情緒をイメージしてみました。

② 訪問着「御簾」

御簾越の香り、絹ずれの音、思う人の気配をテーマに作り上げました。

③ 訪問着「蓮に結び文」

今は昔の悠久の時にはせる思いがテーマとした作品、亡き人々や時代への結び文として。

④ 訪問着「蘭陵王」

平安時代、貴族階級の女と男がテーマ。貴族階級において女性が求められるもの、秘めなければいけない苦しさを蘭陵王の面に託して作り上げました。

⑤ 訪問着「吊香炉・梅の香」

幼い源氏の君と紫の上の重なる想い出がテーマ。



FASHION CANTATA

from KYOTO

丹後織物
工業組合



丹後織物工業組合加盟 8 社の”男きもの”。テーマは「陰陽」。来年創業 300 年を迎える丹後ちりめん、丹後地区の織物は撚糸技術が高く、その強弱で織物の凹凸であるシボが生まれ、独特の光沢を発する。今回は糸を先に染めて織り上げた男きもの 5 体が登場した。

TANGO ORIMONO

丹後織物工業組合

①「ラインブルー」 きもの = 江原産業、帯 = 民谷螺鈿

羽織、きもの、角帯ストールなどにブルーのラインをあしらひ、カジュアルに着てもらえるように作り上げました。デニムに白いスニーカーを履くように草履、角帯、ストールを白にしてよりカジュアル感を出しました。

②「月めかし・月面力」 きもの = 田勇機業、帯 = 民谷螺鈿

日本人ほど月を愛でる国民はいないのではないのでしょうか?そんな月への想いをイメージした作品です。きものはちりめん独特の撚糸技術とジャカード織を融合させて深みを出し、ぼかし染めで時間の流れを表現しました。まさに「ツキ」を呼び込むきものに。

③「T きもの」 きもの = 篠春織物、帯 = コウジュササキ

シンプルでメリハリのあるきものをテーマに羽織の背中には丹後の頭文字「T」をあしらひ丹後ちりめん 300 年に向けたアピールの思いを込めて作り上げました。

④「あけぼの」 きもの = 丸共、帯 = 丸栄織物工場

枕草子の一節「春はあけぼの ようよう白くなりゆく山際……」のイメージを表現した作品です。空気の澄んだ平安時代の夜は、今とは違い満天の星空が広がっていたのではないのでしょうか。その夜明けは太陽の光が星空を染め清々しい一日が始まります。

⑤「羅生門」 きもの・帯 = 柴田織物

平安時代後期が時代背景にある芥川龍之介の作品「羅生門」のイメージと謡曲「羅生門」に登場する鬼を連想して、羽織の肩越しから雷雲、稲妻が走り、地紋には雨をイメージ。また、羅生門の鬼が片腕を切り落とされた伝説から右袖のみを白っぽく染め上げました。角帯は羅生門の扉をイメージして色を朱赤、長着は柄を雲立涌として、羅生門の立ち込めるうっそうとした雰囲気再現しました。俳優渡辺大さんがさっそうとした着こなしでカッコよさを演出してくれました。

FASHION CANTATA

from KYOTO

栗山吉三
京都コレクション協賛

①

和装 4 人目の作家は和染紅型の栗山吉三郎氏。テーマは「かな」。仮名が発達したことで文学にとどまらず、思う心を和歌に詠み、恋する人に届けることが始まったのもこの時代だった。栗山工房は仮名が生んだ心豊かな心模様を文学作品のような図柄のきものに製作した。

KURIYAMA KOBORO

栗山吉三郎

① 振袖「雪輪取疋田入草花」

今、平安時代のすべてを知ることは出来ない。華やかな宮廷。艶やかな衣装。30 歳ほどの寿命。短い命だからこそ華やかに生き抜いた時代。儚くもあり、力強くもある。そんな相反する力を色で表現してみました。

② 小紋「源氏墨絵」

平安幻想のテーマから栗山に依頼された課題は「仮名=かな」。であればもう源氏物語しか浮かばない。その世界観をきものという形で表現しました。

③ 小紋「菅公梅」

菅原道真の愛した花「梅」今も昔も愛され続ける梅の花。道真が詠んだ和歌を思いながら、小紋に染め上げました。

④ 付下訪問着「かいまみ」

平安絵巻の世界を垣間見た様をイメージした作品。もう存在しない世界の繁栄と衰退。小紋の連続する模様を肩裾にポイント置き、絵羽のような繋がりを持つよう染め上げました。

⑤ 小紋振袖「雅楽」

雅楽に用いられる装束や、楽器をモチーフに平安時代の雅な世界に思いを馳せながら制作。小紋の連続する図案にもかかわらず、動きある配置になるよう計算し染め上げています。

女優の栗山千明さんが、艶やかに着こなし会場の観客を魅了しました。



②



③



④



⑤

MARC JACOBS



MARC JACOBS

アメリカンファッションの新たな境地を開拓し続けるマーク・ジェイコブス氏、デザイナーであるマーク・ジェイコブス本人の名を冠したこのファッションハウスは、予期せぬことのうちに存在する美を探求し続け、日々の生活に潜むラグジュアリーを提唱している。

アメリカから上陸した「挑発的かつ少女のような」かわいい”世界観で人々を魅了する」MARC JACOBS の作品 19 体。

ニューヨークコレクションが京都劇場に現れた。



ーファッションカンタータ

FASHION CANTATA

from KYOTO



FASHION CANTATA

from KYOTO

羽田 登
京都コレクション協賛



手描友禅、羽田登氏のテーマは「花と月」。平安の昔から人々は花を愛で月に思いを寄せてきた。咲き誇る花、月明かりが産み出す光のさざ波、愛する人への想いを5体のきものに描き、目に見えない平安京を表した。

HATA NOBORU 羽田登

①「木蓮 上賀茂」

上賀茂の社家の庭に咲く木蓮と、前に流れる水を描いています。

②「友月交風 京都」

京都の町全体を取り巻く、様々な情景を文様化しました。

③「山帰来 鷹峯」

北区や左京区の山に少し入ると、山帰来（サルトリイバラ）の木が見つかります。ツルがあるところや枝振りに野趣味があり、実も葉も緑から赤へと紅葉する様がとても美しい。

④「散り椿 椿寺」

椿の落花を不吉としたのは幕末以降のことで、椿の花は日本書紀にも記述があり、古来から日本人に愛されてきた美しい花です。

⑤「北野梅暦 北野天満宮」

北野の天神さんの美しい梅園をモチーフに描いています。

ーファッションカンタータ

FASHION CANTATA

from KYOTO

ミュージックシーン&フィナーレ

「ジュピター」をきもの姿で歌う平原綾香さん。

きもの〜羽田 登喜作「楽園」。

美しい花々に、蝶々、テントウムシ、蜜蜂が飛び交う、楽園。

楽曲「ジュピター」には最適のきもの。平原さんも「楽曲ジュピターにぴったりのきもの」と話していた。



FASHION
CANTATA
from KY

ON
ATA



平原綾香さん